

現在、当院薬剤部で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

大腸がん患者における術中オンダンセトロンによる術後イレウスへの影響

2. 対象となる方

R3年10月～R5年10月に当院で大腸がんの手術を受けられた患者さん

3. 研究の目的

術後イレウス (POI) と術後悪心嘔吐 (PONV) は、入院期間を延長することが知られている。POI が起こりやすい手術として大腸がんの手術があり、大腸がん手術の POI は 1-3 割で起こるとされている。また術後のオピオイド使用は POI と PONV の発生に関わる重要な因子である。

PONV の治療と予防に対して、5-HT3 阻害薬が有用であることが海外で報告されており、本邦でも 2022 年に PONV に対して 5-HT3 阻害薬であるオンダンセトロンが使用出来るようになった。一方、5-HT3 阻害薬はその機序から腸蠕動を抑制する。

大腸がん術後患者におけるオンダンセトロンの POI への影響を調べた報告はまだされていない。また当院では大腸がん手術患者に POI の観点から術後鎮痛としてオピオイドを使用しないことが多い。

今回、大腸がん術後患者で術後にオピオイドを使用していない患者における、オンダンセトロンによる POI の発生状況を調査し、オンダンセトロンによる POI の詳細な影響を評価する。

4. 研究期間

2023年12月(倫理審査委員会承認後)～2025年3月31日

5. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：診断名、生年月日、性別、体重、入院日、既往歴、家族歴、手術内容、副作用等の発生状況、等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院薬剤部 薬剤師 舛田悠介

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する試料や情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院薬剤部 舛田 悠介